



こどもの読書週間（4月23日～5月12日）



子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、2000年より、今の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとても大切なことです。

「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さん、学校などでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がいっぱい行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。



児童コーナー 展示テーマのお知らせ



4月 ・花いっぱいになあれ（花の本）
・ともだち

5月 ・読み聞かせの本
・ぼうけん



6月 ・どうぶつ
・あめ



※テーマに合わせた、たくさんの本を準備してお待ちしています♪♪

本のしょうかい

『だじゃれどうぶつ図鑑』（楷成社）原案・絵 藪内正幸 文 スギヤマカナヨ

動物画家の^{やぶうちまさゆき}藪内正幸さんを知っていますか？名前を知らなくても、藪内さんの描いた絵は、だれでも一度は目にしているかと思います。

『しっぽのはたらき』『どうぶつしりとりえほん』『冒険者たち』『なにがいのかな？』『おしりが いっぱい』など、森の図書館だけでも60冊以上あります。そんな藪内さんは大阪の出身で、ふざけることも大好きでした。この『だじゃれどうぶつ図鑑』に描かれている絵は、藪内さんのプライベートな「おふざけイラスト」で、本人は本になるとは夢にも思っていなかったでしょう。

性格の悪いシマリス「よこしまリス」、日の出のヒグマ「ヒノデグマ」、雑木林になったアフリカゾウ「アフリカゾウキバヤシ」、また、「シンクロサイ(……)ズドスイミング」やペリカンのくちばしが「バリカン」になっているものなど、たくさんでてきます。

もともなった動物も隣のページに描かれていますので、どうぞ見比べて楽しんでください。



こっそり教えちゃう！

としよかんのひみつ



森の図書館の下に、何があるかしってる？

じつは、この下にも図書館があるんだ。

書庫（「しょこ」とよむ。チョコじゃないよ！）といって、上にはおききれない本を、たくさんおいてあるんだよ。

10年以上まえの古い本や1年ぶんのしんぶんなど、ふだん使う回数は少ないものを、ひつようなときにいつでも取り出せるように、上と同じようにせいりされておいてあるんだ。

けんさくきで借りたい本をしらべたとき、「配架場所（はいかばしょ）」のところ、それがレシートに「書庫森（しょこもり）」と書いてあったら、それは地下の図書館にあるってこと。そのときは上の図書館をさがさず、カウンターにいる人におねがいしてね。

すぐにとってきてくれるよ。



子ども読書の日

子ども読書まつり



場 所：森の図書館

日 時：4月27日（日）

10時～12時 ちょっとすぎ

参加費：無料

森の図書館の全部の部屋を使ったイベントです！大きな絵本を使ったお話会や工作、影絵（かげえ）、パネルシアターなど、お部屋によってイベントがちがいます。

子ども読書まつりの間はそのお部屋のイベントに参加しても大丈夫！

お友達や家族のみんなといっしょに好きなところに参加してみてね！